View

Image

1 page

THOMSON DELPHION 

RESEARCH

My Account

PRODUCTS

INSIDE DELPHION

Search: Quick/Number Boolean Advanced Derwent

Help

## The Delphion Integrated View

Get Now: PDF | More choices... Tools: Add to Work File: Create new Work File View: INPADOC | Jump to: Top Go to: Derwent Email this to a friend

> 위Title: JP04089340A2: CEMENT COMPOSITION TO BE EXTRUSION-MOLDED

PDerwent Title: Cement compsn. for extrusion forming - contains cement,

reinforcing fibres, fibrous water retainer and thickener for floor

and wall materials (Derwent Record)

JP Japan Country: 

ହInventor:

SAKOTA HIROMI:

**NINOMIYA TAKASHI**; **KUSANO KUNIO:** 

SEKISUI CHEM CO LTD

News, Profiles, Stocks and More about this company

₽ Published /

Filed:

1992-03-23 / 1990-07-31 JP1990000204416

**②Application**

Number: 약IPC Code:

C04B 28/04; B28B 3/20; C04B 14/04; C04B 14/16; C04B 14/38;

C04B 16/06; C04B 16/08; C04B 18/08; C04B 18/24;

C04B 22/06; C04B 24/38;

**₽Priority** Number: 1990-07-31 JP1990000204416

SAbstract:

PURPOSE: To obtain a lightweight and high-strength hardened body in a short curing time by incorporating specified amts. of aluminum hydroxide and an elastic lightweight aggregate into the composition consisting essentially of cement, reinforcing fibers and a fibrous water holding agent.

CONSTITUTION: The composition contains 100 pts.wt, of cement, 0.5-50 pts.wt. of aluminum hydroxide, 0.1-20 pts.wt. of an elastic lightweight aggregate having ≤5mm grain diameter and 0-100 pts.wt. of an inorg, lightweight aggregate. Since the elastic aggregate is used for the composition, the breakage of the inorg, aggregate ordinarily jointly used is prevented in an extruder, and hence a lightweight and high-strength formed hardened body is obtained. Further, a natural rugged pattern appears on the surface by the spring back of the elastic aggregate, and the curing time is reduced because the composition contains aluminum hydroxide.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio

₽ Family:

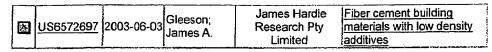
None

Forward

Go to Result Set: Forward references (1)

References:

Patent Pub.Date Inventor Assignee Title



CHEMABS 117(06)054763D CAN117(06)054763D DERABS C92-147470 DERC92-147470









Nominate this for the Gallery...

Copyright © 1997-2004 The Thomson Corporation

Subscriptions | Web Seminars | Privacy | Terms & Conditions | Site Map | Contact Us | Help

```
ANSWER 335 OF 561 CA COPYRIGHT 2004 ACS on STN
L4
AN
     117:54763 CA
     Entered STN: 08 Aug 1992
ED
     Aluminum hydroxide-containing cement
TΙ
     compositions for extrusion
     Sakota, Hiromi; Ninomya, Takashi; Kusano, Kunio
Sekisui Kagaku Kogyo K. K., Japan
IN
PΑ
     Jpn. Kokai Tokkyo Koho, 5 pp.
SO
     CODEN: JKXXAF
DT
     Patent
     Japanese
LA
     ICM C04B028-04
IC
     ICS B28B003-20; C04B014-04; C04B014-16; C04B014-38; C04B016-06;
          C04B016-08; C04B018-08; C04B018-24; C04B022-06; C04B024-38
     58-3 (Cement, Concrete, and Related Building Materials)
CC
FAN.CNT 1
                                            APPLICATION NO. DATE
                      KIND DATE
     PATENT NO.
                      ---
                            _____
                                                            19900731
                                            JP 1990-204416
                       A2
                            19920323
     JP 04089340
PΙ
                            19900731
PRAI JP 1990-204416
     The compns., comprising cement, reinforcing fibers, fibrous
     water-absorbent, and thickener, contain Al (OH) 3 0.5-50, elastic
     lightwt. aggregate having particle size .ltoreq.5 mm 0.1-20, and inorg.
     lightwt. aggregate 0-100 wt. parts (per 100 wt. parts cement) to
     give asbestos-free, fire-resistant, high-strength, lightwt., rapid-setting
     mortar. A compn., consisting of portland cement 100, Higilite
     H-10 10, expanded styrene beads 1, Coal Floater CFB (fly ash balloons) 10,
     polypropylene fibers 2, cellulose pulp (fibrous water-absorbent)
     2, Me cellulose 1, SiO2 powder 10, and water 42 wt. parts, was
     extruded and cured at 70.degree. (100% humidity) for 12 h to give fire-
     and impact-resistant mortar having bulk d. 1.6, bending strength 150
     kq/cm2.
     lightwt aggregate aluminum hydroxide mortar extrusion
ST
     Mortar
IT
        (aluminum hydroxide-contg., lightwt. extrudable,
        compns. for, for fire resistance and strength)
IT
     Shirasu (soil)
     RL: USES (Uses)
        (compns. contg. aluminum hydroxide and, extrusion
        of, for fire-resistant lightwt. mortar)
     Ashes (residues)
IT
        (fly, compns. contg. aluminum hydroxide and,
```



Title: Abstract: Print-Friendly

CEMENT COMPOSITION TO BE EXTRUSION-MOLDED PURPOSE: To obtain a lightweight and high-strength hardened body in a short curing time by incorporating specified amts. of aluminum hydroxide and an elastic lightweight aggregate into the composition consisting essentially of cement, reinforcing fibers and a fibrous water holding agent.

CONSTITUTION: The composition contains 100 pts.wt. of cement, 0.5-50 pts.wt. of aluminum hydroxide, 0.1-20 pts.wt. of an elastic lightweight aggregate having ≤5mm grain diameter and 0-100 pts.wt. of an inorg. lightweight aggregate. Since the elastic aggregate is used for the composition, the breakage of the inorg. aggregate ordinarily jointly used is prevented in an extruder, and hence a lightweight and high-strength formed hardened body is obtained. Further, a natural rugged pattern appears on the surface by the spring back of the elastic aggregate, and the curing time is reduced because the composition contains aluminum hydroxide.

COPYRIGHT: (C)1992, JPO&Japio

Assignee:

SEKISUI CHEM CO LTD

Inventor:

SAKOTA HIROMI NINOMIYA TAKASHI **KUSANO KUNIO** 

**Publication Date: Application Date:**  1992-03-23

Cites:

1990-07-31

Cited By:

0

Intl Class:

C04B02804; B28B00320; C04B01404; C04B01416; C04B01438; C04B01606; C04B01608; C04B01808; C04B01824; C04B02206:

Core: C04B02800 [2006-01]; C04B02400 [2006-01]; C04B02200 [2006-01]; C04B01804 [2006-01]; C04B01600 [2006-01]; C04B01438 [2006-01]; C04B01402 [2006-01]; B28B00320 [2006-01] Adv: C04B02804 [2006-01]; C04B02438 [2006-01]; C04B02206 [2006-01]; C04B01824 [2006-01]; C04B01808 [2006-01]; C04B01608 [2006-01]; C04B01606 [2006-01]; C04B01438 [2006-01]; C04B01416 [2006-01]; C04B01404 [2006-01];

B28B00320 [2006-01]

**US Class:** 

Field of Search:

# @ 公開特許公報(A) 平4-89340

⑤Int.Cl.5 識別	記号	宁内整理番号	❸公開	平成 4年(1992) 3月23日
C 04 B 28/04 B 28 B 3/20 C 04 B 14/04 14/16 14/38 16/06 16/08 18/08 18/24 22/06 24/38	K A A A Z Z Z B	2102-4G 7224-4G 2102-4G 2102-4G 2102-4G 2102-4G 2102-4G 2102-4G 2102-4G 2102-4G 2102-4G 2102-4G 2102-4G	未請求	請求項の数 1 (全5頁)

**20発明の名称** 押出成形用セメント組成物

②特 頭 平2-204416

@出 願 平2(1990)7月31日

大阪府高槻市松が丘2丁目14番5号 美 博 @発 明 者 迫 田 大阪府豊中市玉井町2丁目14番6号 ⑩発 明 者 宮 隆 志 滋賀県栗東郡栗東町小柿437番地の4 邦 雄 草野 @発 明 者 大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号 積水化学工業株式会社 勿出 願 人

#### 明細書

## 1. 発明の名称

押出成形用セメント組成物

## 2. 特許請求の範囲

(1) セメントと補強繊維と繊維状保水剤と増粘剤とを主成分として含有する押出成形用セメント組成物において、セメント100重量部に対して、水酸化アルミニウム0.5~50重量部と粒径5m以下の弾性を有する軽量骨材0.1~20重量部と無機軽量骨材0~100重量部とを含有することを特徴とする押出成形用セメント組成物。

## 3. 発明の詳細な説明

## (産業上の利用分野)

本発明は、押出成形用セメント組成物に関し、 詳しくは、特に軽量で高強度であり、更に、 毎生 時間が短かく、床材、外装壁材、 歴根材等に好適 に用いることができる押出セメント成形硬化体を 製造するための押出成形用セメント組成物に関す

## (従来の技術)

近年、床材、外装壁材、屋根材等に押出セメン ト成形硬化体が多く用いられるに至つている。

このような押出セメント成形硬化体は、従来、加水混合したセメント材料を押出成形機中、 真空脱気しながら、パレルとスクリュー間で加圧して ダイスに送り、 高圧下に成形し、 これを養生する ことによつて製造されており、 従つて、 得られる セメント成形硬化体は、 殺密で 高密度を有する・

そこで、かかる押出セメント成形硬化体を軽量化するために、押出成形用セメント組成物に無機軽量パルーンを軽量骨材として配合することが知られている。しかし、この無機軽量パルーンは、原料の混合混練時や、押出機内で加えられる剪が応力によつて容易に破壊するので、従来、目的とする軽量の押出セメント成形硬化体を得ることが困難であつた。

他方、従来、押出成形用セメント組成物には、 押出成形時の成形性、保形性及び硬化後の機械的 強度を改善するために、多量のアスペストが配合 されている。しかし、アスベストは発癌性を有し、 健康及び環境保全の観点から、その使用が法的に 規制されるに至つている。

## (発明が解決しようとする課題)

本発明は、従来の押出成形用セメント組成物における上記した問題を解決するためになされたものであつて、アスベストを含まず、軽量高強度で異形断面を有するセメント押出成形硬化体を得るための押出成形用セメント組成物を提供することを目的とする。

#### (課題を解決するための手段)

本発明による押出成形用セメント組成物は、セメントと補強繊維と繊維状保水剤と増粘剤とを主成分として含有する押出成形用セメント組成物において、セメント100重量部に対して、水酸化アルミニウム0.5~50重量部と粒径5m以下の弾性を有する軽量骨材0.1~20重量部と無機軽量骨材0~1100重量部とを含有することを特徴とする。

本発明において、セメントとしては、ポルトラ

ンドセメント、高炉セメント、アルミナセメント 等が用いられる。

植強繊維としては、従来、押出成形用セメント 組成物に用いられている任意のものが用いられている任意のしば、ポリア このような補強機能として、例えば、ポリアミド繊維 とこのは雑雑を含むポリピニルルコール機 で有機合成繊維が好適に用いられる。また、、とま の有機合成繊維が好適に用いられる。また、とま とこのような補強繊維は、セメ ント100重量部に対して、通常、1~20重 部、好ましくは3~10重量部の範囲で用いられる。

同様に、繊維状保水剤も、従来より知られているものが適宜に用いられる。このような繊維状保水剤としては、例えば、バルブ、木粉、麻繊維、木綿や、これらの繊維屑を挙げることができる。繊維状保水剤は、セメント100重量部に対して、通常、0.5~20重量部、好ましくは1~10重量部の範囲で用いられる。

また、増粘剤も、従来、知られているメチルセ

ルロース、カルボキシルメチルセルロース、ポリアクリル酸エステル、ポリビニルアルコール、ポリエチレンオキサイド等が適宜に用いられる。このような増粘剤は、通常、セメント100重量部に対して、0.5~20重量部、好ましくは1~5重量部の範囲で配合される。

本発明による押出成形用セメント組成物は、水酸化アルミニウムを含有する。この水酸化アルミニウムは、化学式 Al(OH) 3又はAlzO3・HzO で表わされる物質を含有するものであればよいが、通常は、ボーキサイトを原料として製造された粒径 2 0 0 μm以下の粉体が用いられる。

水酸化アルミニウムは、成形体の性能を短時間で発現させ、養生時間を短縮することができ、しかも、得られる成形硬化体にすぐれた防火性や耐火性を与える。このような効果が発現するのは、水酸化アルミニウムが300で付近で結晶水を解離して、多量の熱量を吸収する性質を有するので、火災等の際の急激な温度上昇に対して、材料の温度上昇を抑制し、火災時、材料の掲裂を有効に防

止するからである。

更に、水酸化アルミニウムは、ポルトランドセメントに適量を配合することによつて、早強性を与える。

本発明によれば、水酸化アルミニウムは、セメント100重量部に対して、0.5~300重量部の範囲で用いられる。0.5 重量部よりも少ない火性や耐火性を与える効果に乏しく、他方、300重量部を超えるときは、セメントの凝結が早すぎて、作業性が悪く、また、硬化後の強度が低下する。特に、本発明においては、水酸化アルミニウムは、セメント100重量部に対して、3~100重量部の範囲で用いるのが好ましい。

更に、本発明による押出成形用セメント組成物は、セメント100重量部に対して、軽量骨材として、弾性を有する軽量骨材(以下、弾性軽量骨材という。)を0.1~20重量部、好ましくは0.1~10重量部と、無機軽量骨材0~100重量部、好ましくは1~100重量部とを含有する。

本発明において、上記弾性軽量骨材とは、粒径が5m以下、好ましくは満比重が0.8以下の粒子であつて、その形状が変形するまで加圧した後、開放するとき、弾性回復(スプリングバック)する性質を有し、好ましくは密閉された容器内で約

る性質を有し、好ましくは密閉された容器内で約 10kg/cdの水圧を加えた後、大気中に開放した とき、粒子が分断破壊されることなく、全容積の 約20%以上が弾性回復するものが望ましい。

このような弾性軽量骨材は、独立気泡体、多泡体、発泡粒、バルーン、層状物等であつてよく、 例えば、 合成樹脂発泡体やこの発泡体を粉砕した 発泡粉砕粒が好適に用いられる。 例えば、 ボリスチレン、 ポリエチレン、 ポリブロピレン、 ボリス 性ビニル、 アクリル樹脂、 ウレタン樹脂、 フェノール樹脂等からなる合成樹脂発泡体やその粉砕は、 水材の粉末やチップ、 繊維状物等も用いられる。

弾性軽量骨材の配合量が多すぎるときは、成形 後のスプリングパツクが大きくなり、成形体全体 にひびや割れが発生し、極端な場合には、成形体 が崩壊する。従つて、弾性軽量骨材は、セメント 100重量部に対して、20重量部以下の範囲で 用いられる。

19 mm 1 1 000 100 00 ,

無額軽量骨材も、粒径が5m以下、嵩比重が0.8以下であつて、火山灰やケイ酸質を含む天然石、砂、粉粒体を軟化点付近の温度で発泡して得られるもの、例えば、シラスパルーン、パーライトや、火力発電所、溶鉱炉、燃烧炉、ポイラー等で生じるフライアツシュパルーン等の軽量の粉体が好ましく用いられる。

本発明によれば、上記弾性軽量骨材と共に、好ましくは軽量無機骨材が併用され、これによって、押出成形機内での剪断応力による組成物中の無機軽量骨材の破損が防止されるので、軽量のセメント成形硬化体を得ることができると共に、弾性軽量骨材は、押出機内で加圧された後、金型から押し出されたとき、スプリングバックして、成形体の表面に自然な模様を形成する。

上記弾性軽量骨材と軽量無機骨材との配合割合 は、目的とする製品の比重と表面模様の違次の程

度によって適宜に選ばれるが、特に、本発明においては、セメント100重量部に対して、粒径が5m以下、嵩比重が0.5以下の弾性軽量骨材0.1~20重量部、好ましくは0.3~10重量部と、粒径5m以下、比重0.8以下の軽量バルーン1~100重量部とを併用するのが好ましい。

本発明による押出成形用セノント組成物は、必要に応じて、充壌材を含有していてもよい。充壌材としては、例えば、粒径 1 mm以下の無機骨材であつて、ケイ砂、シリカ、火山灰、白土、シラス、A L C 等の粉砕物、これら粉体の集盛粉、フライアンシュ等が用いられる。これらは、通常、セメント 1 0 0 重量部に対して、2 0 0 重量部以下、好ましくは 1 0 ~ 1 0 0 重量部の範囲で用いられる。

本発明による押出成形用セメント組成物は、上記した成分の混合物にセメント100重量部に対して水を20~100重量部加えて、混壊することによつて得ることができる。

このような組成物を通常の押出成形機で所要形

状に押出成形し、湿熱養生することによつてセメント硬化体を得ることができ、その後、必要に応じて、乾燥、塗装等を行なう。本発明の組成物によれば、硫酸カルシウムを含有しているので、養生時間は、40~90℃の湿度下、3~24時間、好ましくは6~12時間行なえばよく、従来の押出成形用セメント組成物に比べて、養生時間が短縮される。

### (発明の効果)

以上のように、本発明の押出成形用セメント組成物は、軽量骨材として、弾性軽量骨材を用いるので、通常は併用する無機軽量骨材の押出機内での剪断応力による破損が防止され、その結果、得られる成形硬化体は、軽量で高強度を有する。また、得られる成形硬化体の表面には、前記弾性軽量骨材のスプリングパックによつて、自然な凹凸模様を現出し、例えば、外壁材として好適である。

更に、本発明による押出成形用セメント組成物は、水酸化アルミニウムを含有するので、養生時間を短縮することができ、そのうえ、得られる成

## 特開半4-89340(4)

形硬化体にすぐれた防火性や耐火性を与える。 また、アスペストを必須成分としないので、健 康及び環境保全の観点からも好ましい。

## (実施例)

以下に実施例によつて本発明を説明する。 実施例1~7及び比較例1及び2

(組成物及び成形体の製造)

原料として、水と共に次のものを適宜選択して 用いた。

#### セメント

日本セメント製普通セメント

水酸化アルミニウム

昭和電工製ハイジライト H-10 (平均粒径 5 5 μm、純度 9 9.5 %)

住友化学工業製 C-1 (平均粒径 8 5 μm、純度 9 9.8 %)

## 弹性轻量骨材

積水化成品製発泡スチレンビーズ (粒径 1 m 、 満比重 0.0 2 5)

無機軽量骨材

ユニオン化成製フライアツシュバルーン、コールフローター C F B (粒径 4 0 0 μ m 以下、比重 0.40)

三機工業製サンキライト Y-02 ・

#### 補強繊維

大和紡績製ポリプロピレン PZL 12DX10 繊維保水材

朗興人製粉末パルプ HP-106 (乾式パルプ) 増粘剤

信越化学工業製メチルセルロース SH-30000 充塡剤

住友セメント製シリカ粉(ブレーン値 10000) 関電化工製フライアツシユ (プレーン値 3000)

第1表に示す組成物の原料のうち、水を除く原料をアイリッヒミキサー (日本アイリッヒ製)を用いて、1000rpmで約2分間乾式混合し、これに水を加えて、更に1000rpmで約2分間湿式混合した。次いで、このようにして得た加水混合物をスクリユー押出型混練機(宮崎鉄工製MP

第1表 施 654 比 蛟 例 7 4 2 1 2 3 5 6 1 原料組成(重量部) 100 100 100 100 100 100 100 100 100 普通セメント 30 20 20 ハイジライト H-10 10 20 20 水酸化アルミニウム C-1 15 3 発泡スチレンビーズ 1 2 コールフローター CFB 10 20 10 10 10 10 10 10 5 サンキライト Y-02 ポリプロピレン繊維 2 2 4 2 2 à Æ 2 2 2 2 2 バルブ 2 2 2 2 2 2 2 2 2 メチルセルロース I 1 シリカ粉 10 10 10 10 50 50 50 50 50 フライアツシユ 42 42 42 42 53 53 53 50 50 硬化体性状 曲げ強度(kg/cd) 150 135 125 120 155 140 115 80 95 2.0 2.0 1.5 2.5 1.0 0.5 耐衡撃強度(m) 2.5 2.0 2.0 1.2 1.1 1.7 1.6 . 1.3 1.6 2.0 比斯 1.3 1.6 なし III. 表面模様の有無 あり あり あり あり あり あり あり 良好 良好 良好 良好 良好 良好 爆裂発生 皂裂発生 防火性

-100型)に投入し、混練して、可塑性を有する組成物を得た。

この組成物を真空押出機に投入し、成形体は、押出速度に同調して移動するトレー上に移載しながら引取り、トレーとほぼ同じ長さに切断した後、相対湿度100%、温度70℃で12時間湿熱養生して、断面の外側各辺長さ200㎜、厚さ15㎜、長さ2mの断面し字型の異形成形硬化体を得

## (成形硬化体の強度評価)

上記成形体を長さ20cm、幅15cm、スパン間 距離15cmの支点上に載置し、JISA-1408(5号 試験片)の方法に準じて、曲げ破壊強度を測定して、強度を評価した。

また、長さ40cmの前記同様の断面L字型の異形成形硬化体をその角部が上になるように伏せて、中央角部に重さ2kgの茄子形状の錘を落下させ、角部の亀裂、破断に至る限界の落下高さを測定して、耐衝撃強度を評価した。

比重は、前記曲げ破壊強度の測定のための試験

片と同じものを用いて、試験片の重量と寸法を測定し、次式によつて求めた。

比重=試験片の重量 X 1 0 0 / 試験片の体積 更に、成形体の表面にアクリル系水性塗料を塗 布し、乾燥後、表面の凹凸模様の状態を目視で観察した。

成形硬化体の防火性は、JIS A 1321に単じて、 1 級加熱の条件下に表面試験(試験片厚さ15 mm、 2 2 0 mm×2 2 0 mm)を行ない、試験時の増裂の 有無及び試験終了放冷後に材料の亀裂の有無を観 察した。

結果を第1表に示す。尚、比較例2においては、 押出の途中で金型からの流速が変動し、押出圧力 も徐々に上昇し、同時に押出速度が低下した。得 られた成形体は高比重を有し、また、その断面は、 顕微鏡観察の結果、無機軽量骨材が破壊されてい ることが確認された。